

環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

研究課題番号	4-2403
研究課題名	海草藻場生態系とアオウミガメの共存を図る環境政策に向けた科学的基盤の確立
研究実施期間	2024（令和6）年度～2026（令和8）年度
研究代表機関名	水産研究・教育機構
研究代表者名	奥山隼一

1. 評価結果

評価ランク：S

2. 委員の指摘及び提言概要

沿岸域における海藻・藻場生態系と、それを採餌場として利用するアオウミガメの生態的関係を明らかにし、両者の共存を可能にする政策提言を行う内容である。特に、久米島の現状、餌の枯渇によるアオウミガメの痩せた個体が多いこと、伊良部島においても強度な摂食圧を受けていること、来遊するアオウミガメの起源が多岐にわたっていること、若い個体が多いことなど、極めて有用な知見が得られていると評価する。また、「国民との科学・技術対話」を積極的に進めている点も評価できる。今後、個体数調整を行わない場合に将来どのような選択肢がありうのか、餌不足が繁殖や個体数に及ぼす影響についても検討してほしい。また、ウミガメが捕食する海草の減少理由について、陸上での除草剤使用や陸上や沿岸環境の変化などについても着目し、出口戦略を議論していくことを期待する。